



北海道大学 特別教育プログラム

Nitobe College

新渡戸カレッジ





「光」は「北」から、
「北」から「世界」へ

新渡戸カレッジは、国際的な感性を持った豊かな人間性をはぐくむための分野横断的な特別教育プログラムです。北海道大学の教育プログラムの中でも、異彩を放つものであり、これまで、高い評価を得てきました。2013年に学部生を対象とした「新渡戸カレッジ」を、2015年に大学院生を対象とした「新渡戸スクール」を開校し、さらに2019年に両者の統合を経た上で、2024年よりは新生「新渡戸カレッジ」として、学士課程・修士課程6年一貫のプログラムをより強化したところです。

北海道大学は、1876年の札幌農学校設立以来、その歴史の中で「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」「実学の重視」という教育研究に関わる四つの基本理念を掲げるとともに、今日まで学問の自主、自由の精神を培ってきました。その中、札幌農学校の第二期生である新渡戸稲造は、豊かな精神性と真摯な活動により、本学の目指す人材育成において一つの規範とすべき存在といえます。

この「新渡戸カレッジ」では、新渡戸稲造から学ぶべき精神として、①各国・各地域間の架け橋となるべき「国際的精神の涵養」②深い専門性の探究に加えて「幅広い一般的教養の修得」③社会的

リーダーにともなう義務「ノブレス・オブリージュの遂行」を掲げ、この三つを教育上の理念とします。

新渡戸カレッジにおいては、本学の基本理念と新渡戸稲造から学ぶべき精神に基づきつつ、各々の学問分野における専門性を重視するとともに、学部カリキュラムでは、5つの力(自己成長力・コミュニケーション力・多文化理解力・課題解決力・社会的倫理観)を身につけること、また大学院カリキュラムでは、3+1の力(能力更新力・組織形成力・社会還元力・専門職倫理)を修得することによって、いずれのカリキュラムもそれらの力を発揮できるグローバルリーダーを育成することをめざしています。また、本学同窓生等からなる新渡戸カレッジフェローおよびメンターによるグローバルなキャリア形成の支援教育により、豊かな人間性を醸成しています。

本学の総長メッセージで、私は、「光」は「北」から、「北」から「世界」へという表現を使っています。新渡戸カレッジは、その「光」を放つ重要な教育プログラムであると確信します。

北海道大学総長 / 新渡戸カレッジ校長
寶金 清博



新渡戸カレッジの 教育の特徴

1 グローバルリーダーを育成する 学部から大学院までのワンプログラム

学部カリキュラムと大学院カリキュラムから構成される1つのプログラムですが、どちらか一方のカリキュラムに参加することもできます。各カリキュラムの修了時には称号が付与されます。



2 グローバルリーダーに必要な マインドとスキルを育む教育内容

北海道大学の基本理念及び新渡戸稲造から学ぶ精神に加え、グローバルリーダーに求められる「5つの力」(学部)と「3+1の力」(大学院)を身につける教育を行います。 [詳しくは次ページ](#)

3 自律的な個人の確立と 専門能力を高める海外留学

学部カリキュラムでは、海外において高い倫理観と豊かな人間性をもった自律的な個人の確立、論理的な思考力と高い専門性を身につけることを目的として海外留学を必修としています。海外留学においては、各種奨学金制度により渡航費や留学中の生活費などを支援します。



4 国際社会の縮図と領域横断的環境の提供

留学生の割合が高い大学院カリキュラムでは、属性の異なる大学院生が高い専門性を持って集います。国際社会の縮図を教室内で実現するとともに、専門分野の異なる学生たちが協働してチームで学習します。このことを通して多様性を受け入れ、自らの専門知識を深化させるとともに、専門領域を超える力を身につけます。なお大学院カリキュラムでは、授業や学生によるチームディスカッション、プレゼンテーション等はすべて英語で行われます。

5 「フェロー」・「メンター」によるキャリア支援

新渡戸カレッジでは、国際経験豊かな同窓生等から選ばれた「フェロー」(学部)・「メンター」(大学院)が関与する科目が提供されます。カレッジ生のロールモデルとなるフェロー・メンターとの出会いを通して、人生の意味、大学で学ぶことの意義を考え、自己省察する機会が得られます。彼らと身近に接し、対話することで、視野を広げ、将来の人生設計(キャリアデザイン)の検討への第一歩を踏み出すことができるでしょう。



北海道大学 新渡戸カレッジとは

各学部・大学院での専門教育や研究に加えて、グローバル社会で活躍するために必要なマインド・スキルを身につけるプログラムです。北海道大学の学生を対象とする分野横断型教育プログラムです。



新渡戸カレッジの ビジョン

北海道大学の基本理念及び新渡戸稲造から学ぶ精神に基づき各々の学問分野における高い専門性を修得するとともに、分野横断的な教育プログラムの履修を通して、グローバルリーダーの育成を目指します。



北海道大学の基本理念

フロンティア精神

国際性の涵養

全人教育

実学の重視



新渡戸稲造から学ぶ精神 (新渡戸カレッジの教育上の理念)

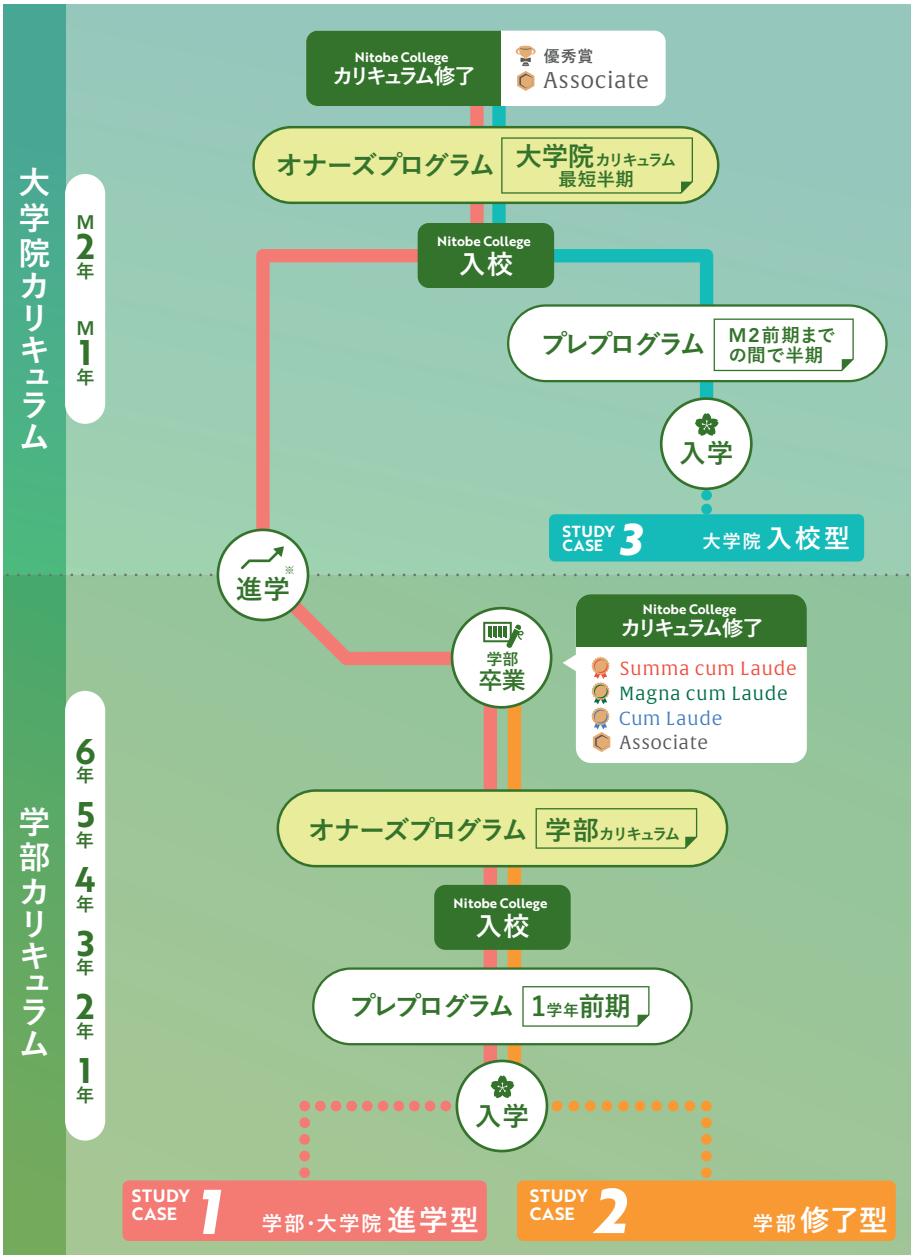
各国・各地域間の架け橋となるべき
国際的精神の涵養

深い専門性の探求に加えて
幅広い一般的教養の修得

社会的リーダーにともなう義務
ノブレス・オブリージュの遂行

新渡戸カレッジの 入校と修了

以下の3つのパターンがあります。
STUDY CASE 1 学部および大学院カリキュラムのすべて
STUDY CASE 2 学部カリキュラムのみ
STUDY CASE 3 大学院カリキュラムのみ



学部で身につく

5つの力

- ✓ 自己成長力
- ✓ コミュニケーション力
- ✓ 多文化理解力
- ✓ 課題解決力
- ✓ 社会的倫理観

大学院で身につく

3+1の力

- ✓ 能力更新力
 - ✓ 組織形成力
 - ✓ 社会還元力
- +
- ✓ 専門職倫理

INFORMATION about Nitobe College

入校時期	学部 1年後期	1年前期のプレプログラム科目を修得後に入校
	大学院 春・秋の年2回	前期または後期のプレプログラム科目を修得後に入校
入校要件	1	プレプログラム科目の単位修得
	2	一定レベルの英語能力
	3	レポート課題の成績 詳しくは7・10ページ
修了要件・時期	学部	9単位以上、学部卒業時に修了
	大学院	4単位以上、最短半期で修了可能

※Cum Laude以上の称号を授与された学部カリキュラム修了生は、大学院プレプログラム科目の修得を経ずに大学院カリキュラムの履修が可能(要審査)

オナーズプログラム 学部カリキュラム

入校・修了要件／カリキュラム／称号

入校要件

入校には、1学期に開講されるプレプログラム科目2科目の修得と、一定レベルの英語能力およびレポート課題の提出が必要です。

✓ 2024年度に入学した学部学生



✓ プレプログラム科目2科目の単位修得

✓ 一定レベルの英語能力

✓ レポート課題の成績

プレプログラム **1学年前期**

オナーズプログラム **学部カリキュラム**

修了要件

Check 9単位以上、学部卒業時に修了

オナーズプログラム学部カリキュラムにおいて、所定の単位を修得し、所属学部等において卒業認定を受けた者に、新渡戸カレッジオナーズプログラム学部カリキュラムの修了証書とオープンバッジを授与します。さらに、英語能力と学部カリキュラムの成績によって、右図の4段階の称号を付与します。また、大学院カリキュラムにおいては、所定の単位を修得した時点で、修了証書とオープンバッジを授与するとともに、Associateの称号を付与します。

新渡戸カレッジ
Summa cum Laude
(= with highest honor)

新渡戸カレッジ
Magna cum Laude
(= with great honor)

新渡戸カレッジ
Cum Laude
(= with honor)

新渡戸カレッジ
Associate

大学院に進学する場合

一定以上の称号(Cum Laude以上; 上記の修了要件参照)を授与された学部カリキュラム修了生は、大学院に進学後、大学院生向けのプレプログラム科目2科目の単位修得を経ずに大学院カリキュラムを履修することができます(履修にはレポート課題を提出し、審査を受ける必要があります)。その他の大学院生は、大学院生向けのプレプログラム科目2科目の単位を修得するとともに、一定レベルの英語能力およびレポート課題の提出があれば、審査の上、新渡戸カレッジオナーズプログラム(大学院カリキュラム)への入校が認められます。



必修科目

新渡戸学 (フェローゼミ)
必修

▶ フェローの主導により現地視察の中から課題を発見し、チームワークにより課題解決方法を探る演習

EN 留学支援英語
必修

▶ 少人数クラスの実践英語
▶ 英語によるコミュニケーション能力の向上
▶ 留学時に必要なアカデミックスキルの修得

海外留学
必修

▶ 新渡戸カレッジでは「海外留学」を必修の科目に設定
▶ 各種プログラムから選択可能
▶ 奨学金制度による渡航費等の支援
[次ページ参照→](#)



授業科目	単位	修了要件	修了に必要な単位数
∞ 新渡戸学(フェローゼミ)	1	必修	必修科目 4又は5単位を含む 合計 9単位以上 入校前に修得した選択科目をオナーズプログラム修了要件に含めることが可能
✈ 海外留学	1又は2	必修	
EN 留学支援英語	2	必修	
新渡戸学(セルフキャリア発展ゼミ)	1	選択	
海外短期語学研修	2	選択	
国際交流科目	1又は2	選択	
日本文化・社会に関する理解増進科目	1又は2	選択	
フィールド型演習	2	選択	
多文化交流科目	2	選択	
大学と社会	1	選択	
グローバル・キャリア・デザイン	2	選択	
専門横断科目	1又は2	選択	
英語による学部専門科目	1又は2	選択	
インターンシップ(国内)	1又は2	選択	

Pre Study

プレプログラム科目

グローバル基礎科目
2科目

▶ 留学を、自分の目指す学びや研究を実現させるための手段として位置づけ、計画をたてる「国際理解と海外留学」
▶ リーダーのあり方や必要な資質などについて、チーム活動の実践を通して考える「リーダーシップとチームワーク」



海外留学

新渡戸カレッジの海外留学には長期留学プログラム(交換留学)と短期留学プログラムの2種類があります。新渡戸カレッジでは「海外留学」として、長期留学を奨励していますが、所属する学部・学科カリキュラムの関係上、長期留学が困難な場合においても、さまざまな短期留学プログラムが提供されています。また、北海道大学では各種奨学金制度を設けており、渡航費や留学中の生活費を支援しています。

長期留学プログラム(交換留学)

長期留学プログラム(交換留学)は、北海道大学の交流協定大学(およそ50の国と地域、250あまりの大学等)に1年未満留学する制度です。留学先で修得した専門科目の単位が、所属部局が認める範囲内で設定されます。

短期留学プログラム

◎学部専門レベル短期留学

学部等が独自に開発し、単位認定している短期留学プログラムです。詳細は、所属する学部等にお問い合わせください。

◎国際インターンシップ

海外における企業等での研修を通して総合的な人間力を培う実践的プログラムです。



海外留学

長期留学プログラム
(交換留学)

短期留学プログラム
学部専門レベル短期留学
国際インターンシップ



オナーズプログラム 大学院カリキュラム

入学・修了要件/カリキュラム/称号

入学要件

修士課程・専門職学位課程に在籍する学生を対象とします。入学には、プレプログラム科目2科目(大学院)の修得と、一定レベルの英語能力およびレポート課題の提出が必要です。なお、Cum Laude以上の称号を授与された学部カリキュラム修了生は、プレプログラム科目2科目(大学院)の修得が免除されます。

修了要件

所定の単位(4単位)を修得した者に、新渡戸カレッジオナーズプログラム大学院カリキュラムの修了証書とオープンバッジを授与するとともに、Associateの称号を授与します。さらに、成績優秀者には優秀賞が授与されます。大学院カリキュラムは最短半年で修了が可能です。

主要科目



グローバル
発展科目Ⅰ
(課題解決の実践)

必修

▶ 新渡戸カレッジ学部カリキュラムやプレプログラム科目を通じて培った能力を生かし、国際的な課題に取り組むプロジェクトをチームで実施し、高い課題解決力を身につけます。



グローバル
発展科目Ⅱ
(課題発見の基礎と実践)

選択

▶ 課題発見のための基礎を学ぶとともに、フィールド調査によるデータ収集や分析などの実践を通して、問題発見の重要性を理解し、独創的な問いを発見する能力を磨きます。

授業科目	単位	修了要件	修了に必要な単位数
 グローバル発展科目Ⅰ(課題解決の実践)	2	必修	必修科目2単位を含む 合計4単位以上
 グローバル発展科目Ⅱ(課題発見の基礎と実践)	2	選択	
新渡戸カレッジ特別演習	1又は2	選択	

Pre
study

プレプログラム科目



グローバル
実践科目Ⅰ・Ⅱ

チーム学習の
基礎・実践

▶ チームワークに貢献するための個々のスキルを伸ばすとともに、チームワークに必要な知識と技法を身につけます。
▶ 具体的事例に関するチームワークを通して、国際的に活用されているプロジェクトマネジメントの手法を修得します。



サポートシステム

フェロー・メンター制度

北海道大学の卒業生・修了生の多くは、国内外の様々な分野で中核的存在として活躍しています。こうした同窓生等のなかから選ばれた人々が「新渡戸カレッジフェロー」(学部)・「新渡戸カレッジメンター」(大学院)となります。新渡戸カレッジ生のロールモデルとなるフェロー・メンターがキャリア教育に携わります。



同窓ネットワーク

同窓ネットワークでは、新渡戸カレッジの在校生と修了生、フェロー、メンター、教員の相互交流の機会を提供します。年1回同窓ネットワーク誌「ACROSS」を発行します。



新渡戸ポートフォリオ



新渡戸ポートフォリオ(NPF)とは、オンラインの学習・研究履歴記録システムであり、新渡戸カレッジでの学修や研究活動を記録し、振り返ることを可能にするとともに、「5つの力」や「3+1の力」の成長を可視化することができます。



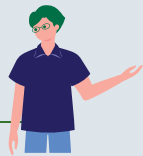
奨学金

新渡戸カレッジに在籍する学部学生・大学院生を対象として、海外留学支援を目的とした奨学金があります。また、新渡戸カレッジに在籍する大学院生には修学支援を目的とした奨学金もあります。いずれの奨学金も、受給者の選考にあたっては、成績や応募書類の内容等から総合的に判断します。





先輩たちの Nitobe College 体験談



01 工学部 応用理工系学科3年 竹内 航平さん 新渡戸カレッジでの出会い

微生物を用いたマイクロプラスチック回収装置の開発をテーマに研究活動をしています。このテーマが経産省起業家育成事業のNEP開拓コースに採択されました。起業との本格的な出会いは廣重フェローが主催されているフェローゼミです。このゼミでは起業家精神を学び、ゼミ終了後も学びと実践を繰り返しました。ゼミで素晴らしい学生と出会って刺激をもらい、廣重フェローに多大なるご支援をして頂きました。これらのことにより、やりたいことに思う存分挑戦できるとい素晴らしい機会を頂くことができました。



また、2年間のグローバル基礎科目でのチューター経験を通して、異分野の方と合意形成をする能力が非常に高められていると感じています。研究者や起業家になるならばこの力は必須の能力だと、日々の活動で痛感しています。さらに、指導した学生の1人と一緒に研究に取り組むという出会いもありました。4年生の時にマイクロプラスチック問題の中心地である太平洋地域への海外留学を検討しています。留学する際は新渡戸カレッジとNEP開拓コースで得た経験を活かして、海外でも知見を深め、誰もやったことのない新しいことに挑戦をしたいです。



02 農学部 生物資源科学科3年 名和 桃子さん 北大生活を満喫する鍵

私は新渡戸カレッジで様々なプログラムに参加しました。グローバル・キャリア・デザイン2(第32回FSPアジア)では、シンガポールとマレーシアに約2週間の研修に行きました。海外で働く方々の話を直接聞き、その様子を間近で見たことで、自分のキャリアに対する考え方も変化し、将来への選択肢の幅も広がりました。グローバル基礎科目やフェローゼミにはチューターとして参加し、基礎プログラム生の手助けをするとともに、自分自身のスキルの見直しや向上のためにもとても有意義な経験となりました。また、チューターとしての



取り組みに加え、セルフキャリア発展ゼミやアドバンストゼミ(2022年度で終了)、対話プログラム(2023年度で終了)への参加を通して、様々な考えを持つ新渡戸カレッジ生やフェロー、先生との出会いがありました。グローバル規模の目標や経験を持つ様々な人とのコミュニケーションは、自分の大学生活の刺激となり、積極的な挑戦につながっています。新渡戸カレッジは大学生活を満喫し、共に切磋琢磨できる仲間を得ることができる場所です。



03 教育学院 教育学専攻 修士2年 山田 愛子さん 大学院教育コースから学んだ グローバル社会で活躍するために役立つ力

新渡戸カレッジ大学院コースに入校した目的は、問題解決力や批判的思考力などキャリア形成に役立つ力を向上させたいと思ったからです。

新渡戸カレッジでは、主にコミュニケーション力や創造力、リーダーシップ力について学びを深めました。基礎プログラム[※]では、チームメイトと協力し、お互いの専門性を活かして、解決策を見つけ出す活動に取り組むことで、異なる文化的背景や専門性を持つ相手にも分かりやすいように自分の考えを伝える力が向上したと感じています。



オーナーズプログラムでは、基礎プログラムで培った力を基盤に、グループでSDGsなど社会的課題について批判的・創造的な視点から考え、課題解決のためのプロジェクトを立案する経験を通し、説得力があるプロジェクトの特徴について理解を深めました。上記の学びは、自分の修士課程における研究の意義やアプローチ法を考える際に非常に役立ちました。

以上より、新渡戸カレッジは、キャリア形成や研究遂行に役立つ力を向上させるための貴重な学びの機会であったと考えています。

※基礎プログラム科目は、2024年度よりプレプログラム科目として開講されます。

04 工学院 環境フィールド工学専攻 修士2年 VORA Kaushal Kishorbhaiさん How do you know about Nitobe College, and what did you learn?

One of my goals upon arriving in Japan was to connect with many people from various countries and learn about their cultures. As a program that brings together students from diverse international and academic backgrounds, I was encouraged to apply for Nitobe College by my senior, an alumnus of the program.

Despite my introverted personality, Nitobe College has provided many scenarios that have trained me to overcome problems during my studies and day-to-day life. Notably, I struggled to assert my opinions when communicating with others confidently. However, thanks to its well-structured programs, Nitobe College has given me the perfect canvas to nurture my latent talents, ensuring an upward trajectory in my personal and professional journey. As I navigated through the program, I immersed myself in an enriching process of acquiring and refining essential skills such as leadership, communication, project management, time management, and fostering successful teamwork. Do you want to enhance your personal growth and develop critical skills that will benefit your academic and professional future, all within an enjoyable and welcoming intercultural and



interdisciplinary environment which broadens your perspective of the world? In that case, I highly recommend applying to Nitobe College!

フェロー・メンターからの

応援メッセージ!



多田 幸雄 フェロー

(株) 双日総合研究所相談役 / 長崎大学経済学部客員教授
出身学部等: 農学部

経済界も注目する新渡戸カレッジの挑戦

今年4月に日本の代表的な経営者団体である経済同友会の教育改革委員会が、「価値創造人材の育成に向けた教育トランスフォーメーション(EX)～個の主体性を尊重し、多様性を育てる教育とそれを支える社会環境の整備～」という提言を発表しました。同提案で社会人がメンターとして併走して学びをサポートする、「育てる」教育の実践例として紹介されたのが新渡戸カレッジで、独自の科目として取り上げられたのがフェローゼミ(新渡戸学)です。最近では教育現場で課題解決型のグループワーク自体は珍しくないなかで、国際経験の豊かな同窓生がフェローとして大学と連携し、共通の教育方針の下、各テーマに基づいた演習を企画し実施するプログラムは稀で貴重な取組みとの評価です。

私は経済同友会の活動に長年関わり、この教育改革委員会の委員や米州など国際委員会の委員長を歴任しました。また文部科学省では英語の大学入試に関わる有識者会議の座長を務め、総合商社で海外駐在を18年経験してから8年前にフェローになりました。今年度はゼミ統括を担当しています。経済界からも注目を集める、新渡戸カレッジの挑戦に皆さんも参加しませんか?



日野 峰子 フェロー

会議通訳者、アイ・エス・エス・インスティテュート東京校 通訳者養成科講師・顧問
出身学部等: 文学部

しなやかに、したたかに

2020年3月、WHOが新型コロナウイルス感染症COVID-19のパンデミックを宣言した当初、私たちの業界でも、渡航・移動制限から会議が激減しました。ところがその後リモート会議が急増、3～4ヶ月後くらいには仕事に戻ってきましたし、最初は問題の多かったリモート会議システムも、どんどんとアップデートされ使い勝手が良くなりました。私が講師を務めている通訳学校でも、早々とリモートでの授業開始を決め、通学が難しかった遠隔地や海外から参加する生徒が増えました。

新渡戸カレッジでも対面でのプログラムが出来ない間、私たちフェローも学生さんたちとは画面越しでアクティビティや対話を続けてきました。自分の都合の良い時間にしかも倍速で(笑)視聴できる、事前録画の講義・講演が充実したのも、逆境を逆手に取った副産物だったと思います。

そもそも人生には想定外のことが付きものです。若い皆さんには次の「想定外」にも対応できるように、転んでもただでは起きないしぶとさや、逆境にもボキリと折れないしなやかさを身につけていただきたいと思いますし、そのためにも、多様な仲間、教員、フェローがおり、留学を含め多様な学びの機会がある新渡戸カレッジは最適な環境だと思います。



前田 美紅 メンター 新渡戸スクール®3期修了生

(株)ニトリホールディングス
出身学部等: 文学研究科

※新渡戸カレッジ大学院教育コースの前身プログラム

実学重視のカリキュラムでグローバルな素養を磨く

新渡戸カレッジの魅力は、グローバルな舞台で活躍できる人材を実践重視で育成するカリキュラムにあると考えています。大学キャンパスの中で多様性が実現され、チームワークのもと広い視野で課題解決にあたる環境が提供されます。専攻も価値観も国籍も異なる人材が集まる場所では、まず「自分は何者であるか」を伝えなければいけません。どんな貢献がチームで出来るかをお互いに共有した上で、課題を分析し、解決策を考えていきます。

「途上国の中等教育」を扱ったあるチームワークでは、情報分析や数値算出、資料作成等、チームメンバーで役割を分担して一つの社会課題について徹底的に掘り下げました。お互いの不足を補い合い、時には熱く議論することで論理的思考力だけでなく、相手に伝える力が磨かれました。毎回クラス後には自分のパフォーマンスを振り返り、良い点・改善点を洗い出します。これらの振り返りを通して自身の行動を変化させていきます。英語での高度な伝達力はもちろんのこと、異なる意見を調整して合意形成を図る力は、社会人になってからも生きる非常に実践的なスキルです。研究にもビジネスにも活かせるグローバルな素養を磨ける教育が新渡戸カレッジです。



OFOSU-TWUM Eric メンター

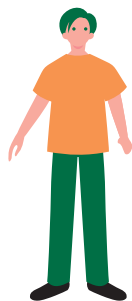
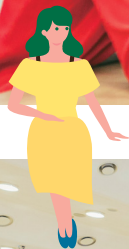
(株)日立製作所
出身学部等: 総合化学院

Make the most of your Nitobe College experience to impact the world

At Nitobe College, you'll experience a unique blend of interdisciplinary learning, research opportunities, and a nurturing community. Embrace this environment and seize every chance to grow academically and personally. Immerse yourself in your studies. Explore diverse fields to enhance your critical thinking and problem-solving skills so as to gain a broader perspective on life. Work hard on your dreams and step out of your comfort zone. Embrace challenges and setbacks as opportunities for growth. Be dynamic, focused, enthusiastic, and maintain a positive mindset. Remember, education is academic and non-academic. Take on extracurricular activities, volunteer services and etc. These will shape your leadership abilities, strengthen your network and enable you to contribute positively to society. Seek guidance from professors, mentors, and fellow students. Nitobe College's faculty and staff are here to support you on your journey. Establish a network of mentors and peers who will provide invaluable advice and connections. Nitobe College will shape you into a well-rounded, innovative, and socially responsible individual. Take advantage of this resource and opportunity for a brighter future.

I have full confidence in each and every one of you. Approach this journey with enthusiasm, curiosity, and determination. Your time at Nitobe College will be an incredible chapter in your life, and as a mentor I am honored to be a part of it. Let's meet at the top.





お問い合わせ先

北海道大学 学務部教育推進課
新渡戸カレッジ推進事務室 新渡戸カレッジ担当
〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目

Tel. 011-706-5414 / 5135 (学部) | 011-706-8187 / 5596 (大学院)

Mail nitobe-college@academic.hokudai.ac.jp (学部)
nitobe-school-office@academic.hokudai.ac.jp (大学院)

Web <https://nitobe-college.academic.hokudai.ac.jp/>

